

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公表番号】特表2015-516018(P2015-516018A)

【公表日】平成27年6月4日(2015.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2015-036

【出願番号】特願2015-510781(P2015-510781)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/08 (2006.01)

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

C 0 8 L 23/06 (2006.01)

C 0 8 L 23/12 (2006.01)

C 0 8 L 91/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 23/02

C 0 8 K 3/08

C 0 8 K 3/22

C 0 8 K 5/09

C 0 8 L 23/06

C 0 8 L 23/12

C 0 8 L 91/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機マトリックスおよび単一のアクチニド粉末またはアクチニド粉末の混合物を含むアクチニド粉末を用いて充填された組成物であって、それが少なくとも、

－ その最長のラジカル鎖が少なくとも数十個の炭素原子を含み、有機化合物のみの全容積の 20%～70%の間の容積含量を占めるアルカンを含む、可塑剤；

－ 少なくとも 1 種のポリオレフィン性ポリマーを含み、そして有機化合物のみの全容積の 20%～50%の容積含量を占める、バインダー；

－ カルボン酸またはそれらの塩を含み、その容積含量が、有機化合物のみの全容積の 10%未満である、分散剤；

を含み

－ 前記アクチニド粉末または前記アクチニド粉末の混合物が、前記充填されたマトリックスの容積の 40%～65%の間を占める、

ことを特徴とする、アクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 2】

前記ポリオレフィン性ポリマーが、少なくとも 10000 g/mol の平均モル質量を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 3】

前記ポリオレフィン性ポリマーがポリエチレンであることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 4】

前記ポリオレフィン性ポリマーがポリプロピレンであることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 5】

前記可塑剤がパラフィンを含むことを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 6】

前記可塑剤がポリプロピレンを含むことを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 7】

前記アクチニド粉末が酸化ウラン粉末であることを特徴とする、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 8】

前記アクチニド粉末の粒子の比表面積が、約 $1 \text{ m}^2 / \text{g}$ ～ $15 \text{ m}^2 / \text{g}$ の間であることを特徴とする、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 9】

前記アクチニド粉末のタップ密度が、前記粉末の前記化合物の理論密度の約 10 % ～ 70 % の間であることを特徴とする、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 10】

前記粉末の構成成分原料の理論密度が、2 ～ 20 の間であることを特徴とする、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 11】

前記粉末の構成成分原料の理論密度が、7 ～ 10 の間であることを特徴とする、請求項 10 に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 12】

前記カルボン酸またはその塩が、少なくとも $100 \text{ g} / \text{mol}$ に等しいモル質量を有することを特徴とする、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。

【請求項 13】

前記カルボン酸またはその塩のアクチニド粉末の質量に対する質量比率が、約 0.01 % ～ 1 質量 % の間であることを特徴とする、請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載のアクチニド粉末を用いて充填された組成物。